

紫波ネット

SHIWA-NET
http://www.town.shiwa.iwate.jp/

人と地域をつなぐ広報紙



3

No.931 2016



「自分の意志を伝える 大切な一票」 紫波総合高校で選挙授業

表紙の写真

紫波総合高校で2月26日、今年6月から選挙権年齢が18歳に引き下げられることから、選挙について学ぶ授業が行われました。県選挙管理委員会事務局の職員が講師となり、2年生186人が、選挙の仕組みや課題などについて学び、模擬投票を体験。グループワークでは、若い世代の投票率を向上させるアイデアを出し合いました。生徒会長の鷹嘴隼人君（水分）は「投票の大切さについて具体的に学ぶことができ、選挙への意識が変わりました。選挙を他人事と考えず、積極的に参加するとともに、同世代に投票を呼びかける活動もしていきたいです」と主権者としての意識を高めていました。

特集 02

家族でもう一度、災害への 備えを確認してみませんか

農業委員会だより「農作業標準料金表」 05

おめでとう！児童生徒が栄えある受賞 06

教育振興だより 08

平成28年度すこやか子育てカレンダー 12

体協だより 14

町制施行60周年記念 シリーズ行ってみよう

まちかどタイムスリップ 24



—昨年、佐比内地区で行われた総合防災訓練で設けられた防災グッズの展示の様子

家族でもう一度、災害への備えを確認してみませんか

局地的豪雨や大地震など、大規模な自然災害が世界各地で起きている昨今。町でも平成23年には東日本大震災、25年には大雨豪雨災害、昨年は県内記録を更新する局地的豪雨を経験しました。今年もまた、いつ大きな災害が発生するかわかりません。

東日本大震災からまもなく5年が経過する今、家族や身近な方々と一緒にもう一度災害への備えを確認してみませんか。

増加傾向にある自然災害に対し、私たち、そして地域は、どう備えればよいのでしょうか。岩手県地域防災サポーターとして県内各地で防災課題と向き合っている及川和男さん(古館)にお話を伺いました。

インタビュー 岩手県防災サポーター 及川和男さん



〈プロフィール〉

古館地区在住。68歳。高校卒業後、技師として県庁に入庁。県内各地で河川や砂防、橋梁(きょうりょう)、ダムなどの整備や維持管理などに携わり、平成19年に退職後は、全国防災協会災害復旧技術専門家として、また平成25年7月からは県総合防災室地域防災サポーターとして活動している。主な支援分野は、地域での防災対策、災害復旧工法の指導支援、災害時要支援者誘導対応、防災マップ作成と活動指導など。

●防災を考えると、私たちは、まずどんなことをすれば良いのでしょうか？

「だ」と思い込んでいる地域のその奥を見て、隠れた危険を知ってほしいのです。その際、何人かで一緒に見るのが大切です。

▽**地域をよく歩いて見る**ことです。自宅周辺はもちろんのことですが、住み慣れた地域をもう一度よく見て、危険があるかどうかを確認してください。特に「ここが一番安全

▽**「プロアクティブの原則」**をご存じでしょうか。近年、危機管理の原則として注目されている考え方は、「疑わしいときは行動せよ」「最悪事

態を想定して行動せよ「空振り」は許されるが見逃しは許されない」という3つの考え方が基本になっています。危機管理に携わる人だけでなく、地域の中で一人一人が、今後どう行動すればよいのかを考える参考になります。

●住んでいる身近な地域を守るために大事なことは何ですか？

▽次の4つのことが大事だと考えています。

① **危険を知る**：地域を見て歩いてどんな危険があるのかをあらかじめ知ることが大切。

② **逃げる方法を考えておく**：安全な逃げ道はどこかを確かめましょう。

③ **備蓄をしておく**：必要最低限の備蓄を心がけてください。特に水の確保が重要です。

④ **助け合いに備える**：一人では逃げられない人がいるとき、助け合う準備が大切。

※助け合うということには、情報の伝達も含まれます。正確な情報を確実に伝える工夫が大切です。

●町内で自主防災組織の設立が進んでいます。活動について、アドバイスを願います。

▽**地域の人との出会い**が大切です。自主防災組織の最も大切なことは、普段は交流の無い地域の人々が出会って知り合うことです。出会って、お互いを知り、一緒に行動すること。それが、防災の始まりです。

▽**地域によって問題点**が違います。地形や土質、気候風土を知り、過去の情報や身近な情報をみんなで知るようにしましょう。

「絶対安心」はあり得ません。逃げる準備を一番に考えましょう！



「災害が起ころう！」なとき



▼「早めの判断で避難する」

警報や注意報の有無に関わらず、自分の身に危険を感じたら、自分の判断で避難を始めてください。特に、高齢者や体が不自由な人は、早め早めの行動を心がけることが、命を守ることにつながります。

▼「気象情報や避難情報に注意」

町は、災害の発生が予測されるなどの場合、ラジオやテレビ、広報車、エリアメール、農事有線放送、ホームページなど、さまざまな方法で避難を呼びかけます。

早めの避難行動をとるためには、日頃から気象情報などに注意することが大切です。

〈気象情報の種類〉

●注意報

注意して！
災害が起るかもしれません

●警報

危ない！このままだと
大きな災害が起ころう

●特別警報・記録的短時間大雨警報

数十年に一度の大災害の危険が迫っています!!

〈災害情報入手する方法〉

- エリアメール
- テレビ
- ラジオ
- ホームページ
- 農事有線放送
- 防災広報車や消防車
- いわてモバイルメール

盛岡地方気象台が発表する気象警報配信の登録はこちら



紫波町の防災情報配信の登録はこちら(火災情報を含む)



いわてモバイルメール 配信一覧

検索

※その他土砂災害警戒情報なども登録により配信されます。

避難するときに気をつけること

「避難時の心得」

- 電気やガスなどの火元を消す
- 必要最低限の非常持ち出し品を持つ
- 動きやすい服装で避難する
- 安全な道を通って避難場所に向かう
- 近所の高齢者や子どもなどの避難に協力しよう
- できるだけ2人以上での行動を心がけよう
- 避難先を家族や親戚に知らせよう

豆知識 災害用伝言ダイヤル「119」

災害で電話がつながりにくい状態になったときに利用できる伝言サービスです。安否の確認や緊急連絡に便利です。

■防災に関する問合せ 総務課 消防防災室

☎(672)2111 内線2360

わが家の防災準備チェック!!

災害時の被害を少しでも少なくするためには、もし災害が発生したときにはどんな行動をとればよいのか、どんなものが必要になるのかを考え、あらかじめ準備しておくことが大切です。

次の項目を確認し、
自分の防災情報を書き込んで
おこう!



▲本年度、県内各世帯に配られた「みんなの防災手帳」が便利です

- 自分の地区の避難場所が分かる (※3月下旬に新しい防災マップを配布予定)
 - 避難場所は []
- 安全に避難できる道が分かる→あらかじめ避難するときに通る道を決めておこう!
- 連絡方法や集合場所を家族で決めている
 - 連絡方法 []
 - 集合場所 []
- 自宅付近の消火栓や防火水槽、水が豊富な水路が分かる→ []
- 家の中の安全な場所を確認している→ []
- 家具が倒れないように固定してある
- 高いところに重いものを置いていない
- 消火器を常備している
- 非常持ち出し用品を準備している ※乳幼児や高齢者がいる場合など、家族構成に応じて必要なものを準備しましょう。
 - 非常食 (カンパン・レトルト食品・チョコレート・缶詰など) 貴重品 衣類 タオル 雨具
 - 軍手 常備薬 カイロ マスク ばんそうこう ビニール袋 ロープ 安全靴
 - レジャーシート 寝袋 その他 []
- 水道・電気・ガスの供給停止に備えた備蓄をしている
 - 飲料水 懐中電灯 携帯ラジオ 携帯電話用充電器 予備電池 カセットコンロ 紙食器
 - 割り箸 缶切り はさみ ライター トイレットペーパー 洗面用具

上の項目以外にも、
自分の生活に欠かせない
ものがあったら、自分だけの
備品リストとして書き
出しておこう!



我が家のプラス備品リスト

必要なのは
こちらも
チェック!

「自力で避難することが困難」だと感じている皆さん

障害者の皆さん

災害時避難行動要支援者名簿に登録している

自分の「おねがいカード」を持っている

※カードを希望する人は、福祉課までご相談ください

子どもたち

災害が起きたときに声をかけられる大人がいる

どんな人でも、いざという
ときに声をかけられる人を
つくっておくことが大切です。
近所の人のお顔、何人思い
浮かべられるかな?



自宅から避難場所までの道 ※かんたんな地図を書いてみんなで確認しておきましょう。

平成28年度 紫波町農作業標準料金表

平成28年度の標準額は次のとおりです。

人 力 の 部			
作業種別	基 準	標 準 額	超 過 額
水田作業一般	1 時間	750円	900円
畑 作 業	1 時間	750円	900円
果 樹	剪 定	1 時間	1400円
	一 般 作 業	1 時間	750円
施設園芸作業	1 時間	750円	900円
オペレーター	コ ン バ イ ン	1 時間	1400円
	ト ラ ク タ ー	1 時間	1300円
	薬剤散布 (果樹)	1 時間	1400円

一人一人の安全意識
の向上で事故防止



～2016年 春の農作業
安全確認運動テーマ～

機 械 の 部							
作業種別	基 準	標準額 (税込)	税抜き額	消費税額 (8%)	摘 要		
施肥作業	マニユアスプレッター	10a当たり	3806円	3524円	282円		
	ブロード キャスター	1 回 2 回	10a当たり 10a当たり	756円 1080円	700円 1000円	56円 80円	
耕起作業	水 田	耕 起	10a当たり	4536円	4200円	336円	
		代 か き	10a当たり	6480円	6000円	480円	植え付け可能な状態まで
田植作業	箱 苗	う る ち	1 箱	685円	634円	51円	薬剤なし
		モ チ	1 箱	691円	640円	51円	薬剤なし
	田 植 機	一 般	10a当たり	6048円	5600円	448円	
		側 条 施 肥	10a当たり	7560円	7000円	560円	
		直 播	10a当たり	5508円	5100円	408円	湛水直播
収穫作業	コンバイン	カ ッ タ ー	10a当たり	16200円	15000円	1200円	
		結 束	10a当たり	20520円	19000円	1520円	結束は紐付とする
乾燥調整 作 業	補 助 乾 燥 (18%未満)	30kg当たり	648円	600円	48円		
	生 粉 (18%以上)	30kg当たり	918円	850円	68円		
そ の 他 作 業	機械草刈(刈払い)		1 時 間	2160円	2000円	160円	水田畦畔
	防 除	ブームスプレーヤ、 または動力噴霧器	10a当たり	1080円	1000円	80円	
		背負動力散布	10a当たり	1080円	1000円	80円	
	畦 畔 塗 り		1m当たり	33円	31円	2円	
	溝 切 り		10a当たり	2700円	2500円	200円	
	サブソイラー		10a当たり	3629円	3360円	269円	5m間隔
	プラウ耕		10a当たり	6048円	5600円	448円	天地返し
牧草作業	刈 取		10a当たり	2160円	2000円	160円	
	反 転		10a当たり	540円	500円	40円	1回
	集 草		10a当たり	648円	600円	48円	
	梱包	コンパクトベラー	1 個	161円	149円	12円	
		ロールベラー	1 個	2160円	2000円	160円	
ラッピング		1 個	1620円	1500円	120円		

【留意事項】1.適用期間は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までです。 2.人力の部の超過額は、実働8時間を超えた場合の金額です。
3.水田に係る作業は整備後の圃場を基準にしています。未整備圃場の場合など、圃場条件や立地条件により、当事者間の話し合いで調整することができます。

【問合せ】 農業委員会事務局 ☎672-2111 (内線2170)

調べる学習コンクールで森田開くん(彦部小5年)が 文部科学大臣賞を受賞



熊谷町長に受賞を報告した森田開君(中央)と、全国コンクールで作品が佳作に選ばれた妹の結子さん(右)(2月29日)

町が本年度開催した「調べる学習コンクール」の高学年の部で町長賞を受賞した森田開君(彦部小5年)の作品『トビの生活におどろいた！+ノスリ』が、(公財)図書館振興財団が主催する第19回「図書館を使った調べる学習コンクール」で最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。全国の小学校高学年児童から応募された2万4334点の中から見事な受賞を果たした森田君は、2月27日に東京都で行われた表彰式に出席。29日には、受け取ったばかりの賞状と盾を図書館に持参して、熊谷町長や侘美教育長などを前に受賞の喜びあふれる報告をしました。

森田君は「自分の頑張りを他の人にも知ってもらうことができうれしかったです。疑問を解決していくのは大変だったけど、調べれば調べるほど興味がわいてきて、研究を終えたときはすごくやりがいを感じました」と充実の表情を見せ「紫波町でももっと多くの人が調べ学習をするとういふなと思います」と、学びの輪の広がりも期待していました。

作品の複製は、図書館で展示されており、どなたでも自由に手に取って見るができます。

森田くんの研究

写真や手書きのイラストなどを交えながら38ページにわたってまとめられた冊子。文章からは、研究を進めるに従って深まっていく森田君の興味や感動の様子が伝わってくる。



森田君の研究は、小学3年生の夏に拾った42・5cmの羽根の落とし主を調べるところからスタート。図書館に通って資料を調べ、羽根の大きさや模様などから持ち主はトビと特定し、実際にトビの子育ての様子を観察。トビが人の10倍の視力を持つということを確認してみたり、膨らみのある翼で風をとらえて飛行するトビの模型を発泡スチロールで作って飛ばしてみたりして、トビの生態の謎に迫りました。

輝く個性と努力に栄誉 ～平成27年度紫波町児童生徒顕彰～



侘美教育長(前列左中央)から盾とメダルを贈られた児童生徒たち

町は2月25日、平成27年度紫波町児童生徒顕彰授与式を役場で開き、県内外で活躍した小中学生3人と団体2組の活躍をたたえました。今年で5年連続の全国大会出場を果たした赤石レッドカルロス(ノスのキャプテン)有馬葵君(赤石小6年)は「毎日、朝と放課後に練習してきたのでみんなの息が合い、雰囲気の良い状態で全国大会にも行くことができました。後輩にも頑張ってもらいたいし、自分も中学生になったら高い目標を持ってスポーツを頑張りたいです」と目を輝かせていました。

【平成27年度紫波町児童生徒顕彰 表彰者】

(敬称略)

学校名	学年	氏名・団体名	内容			
			大会名称	部門など	賞、順位	主催
赤石小学校	-	赤石レッドカルロス	第12回全国小学校ラグビー選手権大会	岩手県予選大会 東北大会	1位 1位	(財)日本ラグビーフットボール協会ほか (財)日本ラグビーフットボール協会ほか
			水分小学校	4	4年生西グループ	平成27年度岩手県地域安全マップコンクール
彦部小学校	5	森田 開	第19回 図書館を使った調べる学習コンクール	小学校の部	文部科学大臣賞	(公財)図書館振興財団
紫波第一中学校	2	淀川 泰誠	第62回岩手県中学校総合体育大会	水泳50m自由形	1位	岩手県中学校体育連盟ほか
				水泳100m自由形	1位	
	3	谷地 穂	第65回岩手県中学校スキー大会 第52回東北中学校スキー大会	ノルディックコンバインド ノルディックコンバインド	1位 3位	岩手県中学校体育連盟ほか 東北中学校体育連盟ほか

本や音楽から受けた感動を 自らの言葉で表現 『胡堂あらえびす大賞「読書と音楽の感想文コンクール」』



表彰式に参加した皆さん。侘美教育長(前列中央)は「本も音楽も自分の人生に寄り添ってくれるもの。今回の経験を、今後の人生に生かしていってください」と受賞者の皆さんにお祝いの言葉を述べました

「各入賞者は下記のとおり。各作品が掲載された感想文集は、図書館や各地区公民館などで見る事ができます。」

町は、本年度初めて「胡堂あらえびす大賞」第1回読書と音楽の感想文コンクール」を開き、応募作品127点の中から選ばれた24作品を表彰しました。このコンクールは、名誉町民の野村胡堂が小説家であるとともに、音楽評論家「あらえびす」として活躍したことになんて企画されたもの。これまで毎年行ってきた読書感想文コンクールに加え、音楽感想文部門を新たに設けました。

野村胡堂・あらえびす記念館で2月28日に行われた表彰式では、胡堂賞と教育長賞の受賞者に侘美教育長から表彰状が贈られた後、各部の代表1人が作品を朗読発表。本や音楽をとおして自分の考え方や今の社会のあり方などを見つめ、力強く前に進むとうとする姿が表れている素晴らしい感想文に、会場に集まった保護者や関係者など約50人からは、大きな拍手が送られました。

今年の町の音楽祭で歌った曲をテーマに音楽感想文に挑んだ遠山美穂さん(赤沢小3年)は「これまで感想文は得意じゃなかったけれど、賞をもらえてうれしかったです。音楽は、言葉ではないけれど表現できるところが好き。もっと上手に歌えるようになりたいです」と晴れやかな笑顔でした。

【胡堂・あらえびす大賞「第1回読書と音楽の感想文コンクール」入賞者】 (賞・学校名・学年・氏名・題名)

●読書感想文の部

《小学生低学年の部》

胡堂賞

古館小学校1年 赤坂 春菜
『いのちをいただく』をよんで

教育長賞

赤石小学校2年 高橋 滯
『やさしさとゆう気』

優秀賞

日詰小学校1年 宮野 結
『10ぴきのかえるざんざんやまへ』をよんで
彦部小学校2年 佐藤 亜美
『『ありがとう』と言われるしごと』

《小学生中学年の部》

胡堂賞

上平沢小学校4年 齋藤 莉央
『わたしが受け取ったメッセージ』

教育長賞

古館小学校3年 佐藤 健太
『ぜったいせんそうをしてはいけない』

優秀賞

長岡小学校3年 稲垣 俐央
『やさしいということ』
赤石小学校4年 朝日田 淳姫
『セラピードッグがいのちをつなぐ』

《小学生高学年の部》

胡堂賞

古館小学校5年 中村 桜椰花
『願いを込めた千羽鶴』

教育長賞

赤石小学校5年 柳平 翔真
『ミーガンの手話』

優秀賞

日詰小学校6年 中館 千鶴
『マザーテレサからの愛の手紙』
長岡小学校6年 佐々木 楓
『まいとともに成長していく』

《中学生の部》

胡堂賞

紫波第一中学校3年 北條 菜美
『永遠の0を読んで』

教育長賞

紫波第一中学校1年 運萬 千尋
『本当に大切なもの』

優秀賞

紫波第一中学校3年 中村 郁月
『悲しみと向きあう事と真つす進む事』
紫波第三中学校2年 松田 涼花
『幸せのカタチ』

《高校生の部》

胡堂賞

紫波総合高校3年 藤原 奈緒子
『願い、感謝』

教育長賞

紫波総合高校2年 関野 叶恵
『生きたい』

優秀賞

紫波総合高校1年 吉田 佳永
『『アンネの日記』を読んで』
紫波総合高校3年 木村 美優
『人の心理と災害』

●音楽感想文の部

《小学生中学年の部》

あらえびす賞

佐比内小学校4年 佐々木 愛理
『明日を信じて 自分を信じて』

教育長賞

赤沢小学校3年 遠山 美穂
『はじめてでステージで歌ったよ』

優秀賞

佐比内小学校3年 中田 輝美
『メッセージを伝えた音楽祭』
佐比内小学校3年 北村 巧馬
『ともだち』

(敬称略)

教育振興だより

48号



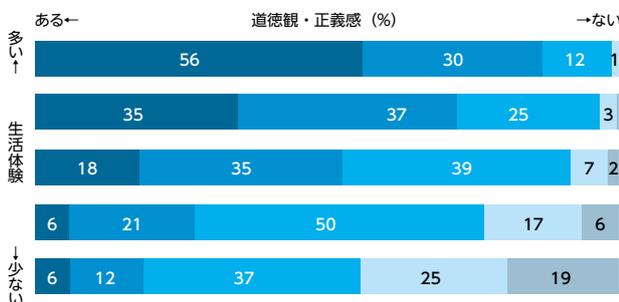
願い 子どもたちの学力向上、健全育成、健康安全
 全県共通課題:メディアとの上手な付き合い方

5者とその責任(5R運動)

- 子ども…学習意欲を高める
- 親……家庭教育を充実させる
- 教師…学校教育を充実させる
- 地域…地域社会の教育環境を整える
- 行政…さまざまな教育条件を整備充実させる

みんなで取り組もう、教育振興運動 豊かな体験活動が豊かな人間性を育みます

生活体験と道徳観・正義感の関係



【平成24年青少年の体験活動等に関する実態調査】
 (独)国立青少年教育振興機構実施

回答の分析から、生活体験の多い子どもほど、道徳観・正義感のある行動を心がけていることが分かっている。

核家族化や情報化など、社会環境が変化していく中で、子どもたちがさまざまな体験をする機会が減少しています。こうした経験の不足が、昨今のいじめや暴力行為、凶悪犯罪の増加などの要因の1つとして指摘されています。

町内では、子どもを中心として、家庭、学校、地域、行政が一緒になって、子どもたちを育む「教育振興運動」を行っています。各実践区では、それぞれに工夫を凝らした子ども会活動や中学生社会参加活動などに取り組んでいますので、皆さんも参加してみませんか。そこには、地域を元気にする子どもたちの姿と、子どもたちを見守る地域の温かな眼差しがあふれています。地域のひととのふれあいや今しかできない体験が、子どもたちの心を少しずつ育てていくことでしょう。

今回は「紫波ネット10月号No.921」に続き、各実践区から寄せられた本年度の取り組みを紹介します。

被災地の子どもたちに思いを寄せて

赤沢地区実践協議会

赤沢小学校で11月7日、花巻市教育委員会の指導主事である斎藤真先生を講師に招き、復興教育の講演会を開きました。斎藤先生は、東日本大震災当時、釜石市立釜石東中学校に勤務されていました。講演では、地震後の津波から小中学生がどのように避難したか、震災後の学校生活はどのようなもので、子どもたちはどんな気持ちで生活していたかなどをお話いただきました。子どもたちは、被災地の様子を思いを寄せながら、真剣な表情で話に聞き入っていました。



「東日本大震災から学ぶ」と題した講演会



美しい音色と素晴らしい演奏テクニックに魅了される参加者たち

軽やかで楽しい音色に癒やされた時間

片寄地区実践協議会

マリンバ・打楽器奏者の熊谷綾子さんと江越海さんをお招きし、演奏会「マリンバと打楽器の夕べ」を、10月1日にJA志和生活会館で開催しました。雨の中でしたが、会場には志和地区の小さなお子さんからおじいさん、おばあさんまで114人が来場し、お二人がダイナミックに奏でる「道化師のギャロップ」「ジブリメドレー」「草けいば」などの曲に聞き入りました。子どもたちに人気の「アナと雪の女王」の曲が演奏されたときには、参加者全員でポディー・パーカッションに挑戦し、楽しい時間を過ごしました。

それぞれの活動成果を発表し交流深める

佐比内地区実践協議会

佐比内地区教育振興運動実践区では毎年1月末に、実践発表交流会を開催しています。

小学生は、各学年の代表1人が「わが家の憲法」の取り組みについて発表します。また、地区会長の代表者は、地区子ども会の取り組みについて発表します。中学生は、社会参加活動について発表します。保護者の代表は、家庭での「わが家の憲法」の取り組みについて発表し、保育所では、保育所の親子の活動について発表します。

「憲法」や目標に対する達成感が自分自身の成長につながっていることを感じている発表内容が多く、家庭教育についての実践発表をとおして、活動の交流を深めています。



1月27日に佐比内小学校で行った実践発表交流会の様子



150人以上が参加する中で堂々と発表した子どもたち

思いを伝え合う実践交流会

古館地区実践協議会

本年度の教振活動実践交流会は1月25日に、古館ふれあいホールで行いました。小学生・中学生の子どもたちはそれぞれの地区で行ってきた活動についてまとめ「これからも地域のひととの交流を大切にしたい」と発表しました。また、スクールガードやスポーツ少年団指導者の皆さんは「地域の大人がそれぞれの立場で子どもたちの成長を支え見守りつづけたい」と、子どもたちへの思いを伝えました。

みんなで国体をサポート

日詰地区実践協議会

日詰地区実践協議会は7月28日、いわて国体を応援する「国体サポート事業」を開催しました。約50人の中学生が参加し、8月のリハーサル大会で地区内に宿泊する選手の皆さんへ応援メッセージカードを製作しました。カードの下絵も中学生のデザインによるもので、一人一人が丁寧に色を塗り、メッセージを書きました。暑い日でしたが、参加者は「紫波町に来た選手の皆さんに喜んでほしい」と心を込めて作りました。作品は、国体推進課を通じて選手の方々へと届けられました。



気持ちを込めてメッセージカードを作る子どもたち



地域の皆さんとともに餅つきをする子どもたち

地域が1つになって収穫祭

星山地区実践協議会

星山小学校の収穫祭は、小学生、小学校PTA、中学生、地域が一緒になって行う大きなイベントです。今年も11月26日に同校体育館で開催し、高学年の子どもたちが育てたもち米「ヒメノモチ」を使用して、餅つき体験をしたり、学校や地域で育てられた野菜が入った豚汁を作ったりしました。

会食会では、お餅に絶品のあんこやきなこを付け、漬け物などの差し入れと一緒においしくいただきました。また、星山神楽保存会による神楽も披露され、大いに盛り上がりました。

子どもたちの命を守り、いじめを許さない社会をつくる宣言を採択 「いわて教育の日」10周年記念集会開催

県は平成17年に、11月1日を「いわて教育の日」とする条例を制定し、11月1日から7日までを「いわて教育週間」としています。これに合わせ、町でもこの期間を中心に教育関連行事を実施しています。

この「いわて教育の日」が今年で10周年を迎えるに当たり、11月26日に記念式典が県民会館で開催されました。記念集会では、いじめを苦に中学生が自殺したとみられる問題が県内で2年続けて発生したことを踏まえ、「子どもたちの命を守り、いじめを許さない社会をつくる宣言」が満場の拍手で採択されました。



「子どもたちの命を守り、いじめを許さない社会をつくる宣言」

平成27年11月26日「いわて教育の日」の集いにて採択

子どもたちの命は、かけがえのないものです。子どもたちの命が、いじめによって傷つけられることは、重大な人権侵害であり、決して許されないことです。子どもたちには、いじめのない安全で安心な学校や、家庭、地域社会のなかで、学び、遊び、友だちと過ごす大切な時間が保障されなければなりません。

しかし、いじめは、すべての学校、すべての子どもたちに起こる可能性があります。岩手の宝である子どもたちが、いじめにより、人を傷つけたり、人に傷つけられたりすることで、夢や希望を失い、自ら命を傷つけるようなことは、決してあってはなりません。

この岩手のすべての人々が、いじめを自分たちの問題としてとらえることが必要です。岩手の子どもたちの心の中に、自他の命を尊重する優しさを育てるため、今こそ、子どもたちと大人たちが力を合わせる時です。

子どもたちの命を守り、いじめを許さない社会をつくるために、「いわて教育の日」制定10周年にあたり、私たちは宣言します。

- 自他の命の大切さを伝え続け、かけがえのない命を守ります。
- 一人一人の良さを互いに認め、他者を思いやる心を育みます。
- 辛く苦しんでいる人に声をかけ、思いを深く受け止めます。
- 嫌がることをしてはいけなときっぱり言う強い心を持ちます。
- いじめられた子どもの心とからだを、みんなの力で守りぬきます。
- いじめをした子どもには、二度と同じ過ちを繰り返させません。
- 子どもは正しい行動をする勇気を持ち、大人は規範となる行動をします。

かけがえのない命を守るために、みんなで心に抱き続けましょう。

子育てや教育のことで困ったときには、1人で悩まず、下記の相談機関に電話やメールをしてみてください。秘密は守られます。

○県教育委員会の相談窓口

・ふれあい電話	学校生活に関する教育相談	☎0198-27-2331	月～金 午前9時～午後5時
・コスモスダイヤル	発達障害に関する教育相談	☎0198-27-2473	月～金 午前9時～午後5時
・24時間いじめ相談電話	☎019-623-7830	✉fureai@pref.iwate.jp	年中24時間受付
・すこやかダイヤル	子育てに関する相談全般	☎0198-27-2134	月～金 午前10時～午後5時
・すこやかメール相談	子育てに関する相談全般	✉kosodatem@pref.iwate.jp	
・マナビコール	生涯学習に関する相談	☎0198-27-4563	月～金 午前9時～午後5時

○町教育委員会の相談窓口

・ふれあい電話	学校生活に関する教育相談	☎019-676-6660	月～金 午前9時～午後5時
---------	--------------	---------------	---------------

子ども教室 を紹介します

町は、県の委託事業として「子ども教室」を開催しています。この教室は、学校や公民館などに安全で安心して活動できる居場所を設け、地域のボランティアの協力を得て、子どもたちが勉強やさまざまな体験を行うものです。運営には、町教育委員会とNPO法人ゆう・もあ・なつとが携わっています。各教室の活動の一部を紹介します。

日詰子ども教室

平成27年度の日詰子ども教室では、映画会（終わった後は勉強会）を月2回、月1回の土曜日には「世界のお菓子を作ろう！（イギリス・オーストリアなど）」・「木で作ろう！（本立て・鉢台とルームプレートなど）」・「ECOを楽しもう！（紙すき・瓶キャンドルなど）」をそれぞれ3回ずつ行いました。

また、5月から9月までは、希望した親子が5カ月間継続して、子ども教室の畑「なでしこ農園」でサツマイモと枝豆を育て、収穫後にはスイートポテトとずんだ餅を作って食べました。



オリジナルの瓶キャンドルを手につくった子どもたち



大槌町の「3.11希望の灯り」の周りで話を聞く子どもたち
(この灯りは、阪神・淡路大震災で被災した方々を励ますために、全国から種火が集められ点灯した「1.17希望の灯り」の火を分灯したもの)

古館子ども教室

古館子ども教室では「フェルトでちくちく」や「郷土料理づくり」「えいごで遊ぼう!」「お正月飾りづくり」を実施しました。講師は子どもたちを思う地域の方々です。

また、日詰・古館子ども教室合同として「子ども大槌ウォーク」「子ども夏まつり・冬まつり」「新年のお茶会」「東日本大震災追悼夢灯り」にも取り組み、たくさん子どもたちが参加してくれました。

「子ども大槌ウォーク」では、被災地の方々に一日も早く普通の生活が戻ることを願い、親子で一緒に出かけました。「あの3月11日当日、夕方に家族みんなに会えたことに感謝だなあと思った。今、自分に何ができるかなあ」と感想を書いてくれた子もいました。

赤石こどもクラブ

赤石こどもクラブの「まめっこ農園」では、赤石小学校近くのお畑を借り、地域の人に栽培のお手伝いをしていただきながら、収穫体験まで行っています。本年度は、栽培した大豆でみそを造り、公民館まつりで地域の皆さんに販売する体験もしました。他にも、地域の方々や学校、その他の施設にもお世話になりながら、工作や調理体験など、楽しい活動を展開しています。



まめっこ農園の前で笑顔の子どもたち

募集

「子ども教室」「紫波っ子サイエンス教室」のボランティア

子どもが好き、そして少し時間のある人は、ボランティアをしてみませんか。町は「子ども教室」や「紫波っ子サイエンス教室」で、子どもと一緒に活動していただける人を募集しています。資格は必要ありません。興味がある人はご連絡ください。

◆子ども教室

- ①活動内容 子どもたちのものづくり体験のお手伝い
- ②活動日 土曜日(隔週)など 午後1時～4時

◆紫波っ子サイエンス教室

- ①活動内容 子どもの実験・工作活動の見守り
- ②活動日 年6回程度 午前9時～正午

◆問合せ

生涯学習課 ☎672-2111 内線3123



会場は役場庁舎1階
長寿健康課です



保存版

妊婦や乳幼児がいるご家庭では、このカレンダーを1年間ご活用ください。

平成28年度母子保健事業の日程をお知らせします。また、毎月の日程は『紫波ネットおしらせ版』に掲載します。相談ごとなどがあるときには、お気軽に長寿健康課まで問い合わせください。



◆問合せ 長寿健康課 健康推進室 ☎672-2111

4 集団健康診査

■受付時間 午後0時30分～2時 (開場:正午) ※対象者には個人通知しています。

① 健康診査

1歳6カ月児健康診査

- 内容 計測、内科診察、歯科診察、フッ素塗布、歯科相談、育児相談、栄養相談
- 持ち物 母子健康手帳、歯ブラシ、タオル、問診票

実施日	対象者
5月11日(水)	平成26年 9月～10月生
7月 6日(水)	平成26年11月～12月生
9月14日(水)	平成27年 1月～ 2月生
11月16日(水)	平成27年 3月～ 4月生
1月11日(水)	平成27年 5月～ 6月生
3月15日(水)	平成27年 7月～ 8月生

3歳児健康診査

- 内容 計測、尿検査、内科診察、歯科診察、フッ素塗布、歯科相談、育児相談、栄養相談、目と耳の検査(自宅で実施)
- 持ち物 母子健康手帳、歯ブラシ、タオル、問診票、尿(自宅で採尿)

実施日	対象者
4月13日(水)	平成24年 9月～10月生
6月 8日(水)	平成24年11月～12月生
8月31日(水)	平成25年 1月～ 2月生
10月12日(水)	平成25年 3月～ 4月生
12月 7日(水)	平成25年 5月～ 6月生
2月 8日(水)	平成25年 7月～ 8月生



※会場では飲食を禁止しています。必ず昼食と歯磨きを終わってからご来場ください。

② 歯科健康診査

- 内容 計測、歯科診察、フッ素塗布、歯科相談、育児相談、栄養相談
- 持ち物 母子健康手帳、歯ブラシ、タオル、(フッ素塗布希望者) 500円

1歳児歯科健康診査

実施日	対象者
4月12日(火)	平成27年 2月～ 3月生
6月 7日(火)	平成27年 4月～ 5月生
8月 2日(火)	平成27年 6月～ 7月生
10月11日(火)	平成27年 8月～ 9月生
12月 6日(火)	平成27年10月～11月生
2月 7日(火)	平成27年12月～28年1月生

2歳児歯科健康診査

実施日	対象者
5月10日(火)	平成26年 3月～ 4月生
7月 5日(火)	平成26年 5月～ 6月生
9月 6日(火)	平成26年 7月～ 8月生
11月 8日(火)	平成26年 9月～10月生
1月10日(火)	平成26年11月～12月生
3月 7日(火)	平成27年 1月～ 2月生

2歳6カ月児歯科健康診査

実施日	対象者
5月17日(火)	平成25年 9月～10月生
7月12日(火)	平成25年11月～12月生
9月13日(火)	平成26年 1月～ 2月生
11月15日(火)	平成26年 3月～ 4月生
1月17日(火)	平成26年 5月～ 6月生
3月14日(火)	平成26年 7月～ 8月生

平成28年度 すこやか 子育てカレンダー



1 赤ちゃんができたら

妊娠したら、早めに長寿健康課で母子健康手帳の交付を受けましょう。



① 母子健康手帳の交付

● 交付日 毎週金曜日(祝日は除く) 午後1時～4時

● 届出に必要なもの

妊娠届出書、保険証、印鑑、銀行などの口座番号が分かるもの、ご本人の個人番号(マイナンバー)が分かるもの
※交付日に都合がつかない人は、事前にご相談ください。

② パパママ教室

■ 時間 午前9時15分～正午(受付は午前9時～)

■ 要予約 開催日の2日前までに長寿健康課に申し込みください。

	1コース	2コース(8組限定)
日程	4月16日(土)・6月18日(土) 8月20日(土)・10月1日(土) 1月21日(土)	5月14日(土)・7月9日(土) 9月3日(土)・11月5日(土) 2月4日(土)
内容	赤ちゃんを迎える生活の心構え・妊婦ストレッチ・おっぱいの手入れ・赤ちゃんの抱き方・パパの妊婦体験	妊娠中からの ^{こくう} 口腔衛生 沐浴実習
持ち物	母子健康手帳	

2 定期予防接種

個別接種

委託医療機関で受けましょう

対象年齢を過ぎると任意接種となり、有料になるものもあります。

予防接種の個別接種委託医療機関や接種回数は「予防接種予診票綴」または「Birth Book」をご覧ください。

種類	対象年齢
ヒブ	生後2カ月から60カ月に至るまで
小児用肺炎球菌	生後2カ月から60カ月に至るまで
四種混合	生後3カ月から90カ月に至るまで
BCG	1歳に至るまで
麻しん 風しん 混合	第1期…生後12カ月から24カ月未満 第2期…29年度小学校就学予定者
水痘	生後12カ月から36カ月に至るまで
日本脳炎	生後36カ月から90カ月に至るまで

3 子育てを応援します

① ママのほっと広場

育児相談、計測、栄養コーナー、歯科相談などがあります。午前中には、ボランティアによる絵本の読み聞かせが行われます。

開催日		
4月26日(火)	5月24日(火)	6月21日(火)
7月26日(火)	8月23日(火)	9月27日(火)
10月25日(火)	11月29日(火)	12月20日(火)
1月24日(火)	2月21日(火)	

■ 受付時間 午前9時～11時、午後1時～3時

■ 持ち物 母子健康手帳、タオル、オムツ
※受付時間内であれば自由に参加できます。歯科相談は、5・8・11・2月にあります。希望者は歯ブラシをご持参ください。

② 離乳食教室

ママのほっと広場と同日開催。

■ 時間 午後1時30分～3時(受付は午後1時～)

■ 対象者 おおむね7～8カ月児の保護者
※対象者には個別通知しています。

③ BabyCome★4～5カ月広場

4～5カ月児の相談日です。

■ 受付時間 9時30分～45分

※対象者には個人通知しています。

実施日	対象者
4月14日(木)	平成27年11月生
5月12日(木)	平成27年12月生
6月2日(木)	平成28年1月生
7月7日(木)	平成28年2月生
8月4日(木)	平成28年3月生
9月8日(木)	平成28年4月生
10月6日(木)	平成28年5月生
11月2日(水)	平成28年6月生
12月1日(木)	平成28年7月生
1月5日(木)	平成28年8月生
2月2日(木)	平成28年9月生
3月2日(木)	平成28年10月生



体協だより

●発行 一般財団法人 紫波町体育協会 ☎676-2650
E-mail:taikyou@gymna-shiwa.jp

平成28年度 | 前期スポーツ教室のご案内

教室受講希望者は体育館窓口で会員登録が必要です。詳しくは窓口でご確認ください。

会員登録料 (保険料込)	幼 児	児童生徒	一 般	65歳以上
	500円	800円	1500円	1200円

◇注意事項 *1人当たり1家族の申し込みを受け付けます。*開講2日前までに、5人以上の申し込みがない教室は開講しません。*教室は初心者・初級者を対象として基本を中心に指導します。*祝日、夏・冬休み期間中は、開講時間や日程を変更する場合があります。*定員以上の希望があった場合は抽選となります。

体育塾・ジュニア水泳教室4月8(金)～10(日) (午前9時～午後8時) 希望教室受付 (申込手続きは4月12日午後1時から開始)
上記以外の教室4月19日(火) 午前9時から申込受付

受付期間	教室名(開講場所)	開催期間・対象・定員	内 容	受講料
4月8～10日希望受付	体育塾キッズコース (総合体育館ほか)	期間:5/9～7/4(5回) 隔週月曜、16:00～17:00 対象:5歳以上の園児 定員:15人	いろいろな運動を体験し、体を動かす楽しさを感じましょう。	2000円
	体育塾1年コース (総合体育館ほか)	期間:5/10～9/20(10回) 隔週火曜、16:30～17:30 対象:小学1年生 定員:20人	楽しくいろいろな運動経験を積み、総合的な運動能力の習得を目指します。	3500円
	体育塾2年コース (総合体育館ほか)	期間:5/10～9/20(10回) 隔週火曜日、17:30～18:30 対象:小学2年生 定員:20人		
	体育塾3・4年コース (総合体育館ほか)	期間:5/12～9/15(10回) 隔週木曜、17:30～18:30 対象:小学3～4年生 定員:20人		
	体育塾高学年コース (総合体育館ほか)	期間:4/25～9/12(10回) 隔週月曜、17:30～18:30 対象:小学4～6年生 定員:20人	運動能力向上を目的とした体づくりと成功体験を積むプログラムです。	2500円
	ジュニア水泳教室 低学年コース (ラ・フランス温泉館)	期間:5/7～7/9(うち8回) 毎週土曜、18:00～18:50 対象:小学1～3年生 定員:40人	泳ぎ方の基本から指導するので泳げなくても安心です。夏に向けて泳げるようになるチャンス。 *プール利用料は個人負担。	
	ジュニア水泳教室 高学年コース (ラ・フランス温泉館)	期間:5/7～7/9(うち8回) 毎週土曜、19:00～19:50 対象:小学4～6年生 定員:40人	「水が怖い」「泳ぎに自信がない」という人を対象に、泳ぎ方の基本から指導します。夏に向けて泳げるようになるチャンス。 *プール利用料は個人負担。 *スキルアップの指導ではありません。	
4月19日から受付	元気いきいき教室 (総合体育館ほか)	期間:6/1～7/13(6回) 毎週水曜、9:30～11:30 対象:一般成人 定員:25人	ニュースポーツを通じて健康維持増進を目指します。体と脳を使って、リフレッシュしましょう。(6/15日は休講になります)	2500円
	ヨガ教室 (総合体育館)	期間:5/31～7/5(6回) 毎週火曜、19:00～20:30 対象:16歳以上の男女 定員:15人	ホームヨガの基本を指導します。また、産後の体型改善の効果が期待できる内容です。	2500円
	ナイターテニス教室 (運動公園テニスコート)	期間:5/18～6/22(6回) 毎週水曜、19:00～20:50 対象:16歳以上の男女 定員:30人	硬式テニスの基本を指導します。体を動かし日常のストレス発散をします。貸しラケット(無料)あります。	2500円
	トレーニング教室 (総合体育館)	期間:5/11～5/25(3回) 毎週水曜、10:30～11:30 対象:16歳以上の男女 定員:10人	トレーニング室を利用する前に知っておきたい正しい知識、効率のよい運動方法を一緒に覚えます。	800円

受付期間	教室名(開講場所)	開催期間等	内 容	受講料
4月19日から受付	キッズスポーツ教室 (総合体育館ほか)	期間:5/19~7/28 (6回) 毎月隔週木曜、10:00~11:30 対象:幼児(満2歳以上)と保護者 定員:20組	さまざまな遊びを通じて子どもの発達に 適した運動経験を親子でふれあいなが ら思いぎり体を動かします。	2000円
	水中運動教室 (ラ・フランス温泉館)	期間:5/13~7/8(5回) 毎月第2・4金曜日、14:00~15:00 対象:一般成人 定員:20人	水の中でリラックスしながら運動をし ます。水の特性を体感しながら体を動か しましょう。 *プール利用料は個人負担	2000円

参加募集

キッズスポーツ教室 「速く走るコツ ~目指せ運動会一等賞!~」

スポーツの基本である「走る」をテーマに、速く走るための走り方やコツを学ぶ教室です。運動会に向けて、練習しましょう。申し込みの上、ご参加ください。

◆開催日 4月17日(日)、24日(日)、29日(金・祝) (全3回)

◆対象・定員・時間

- ①小学1~3年生の男女40人 午後2時~2時45分
- ②小学4~6年生の男女40人 午後3時~4時

◆参加料 1500円(保険料込み)

※申し込み後の参加料の返金は不可

参加募集

平成28年度自転車競技場 開放日のお知らせ



自転車競技場を無料開放し、バンクでの走行体験や安全で正しい自転車の乗り方を指導します。自転車とヘルメットをご持参ください。また競技用自転車やランニングバイク(幼児用足こぎ自転車)の貸し出しもしています。休日ですので、ぜひ皆さんでお出かけください。

◆開放日日程

4月3日、17日、5月8日、15日、6月5日、12日、7月31日、8月14日、9月11日、10月30日(いずれも日曜日・全10回)

平成27年度 後期事業報告

体育協会では、幼児から高齢者まで幅広い世代がスポーツを「観る」「する」「支える」の観点から携わることにより、スポーツの普及・振興を図ると共に町民の体力向上や健康増進に寄与することを目的として、さまざまな事業を行っています。27年度後期に行われた事業の一部を紹介します。

紫波町体育協会創立60周年記念事業 が盛大に開催されました



昨年11月21日、紫波町体育協会創立60周年記念事業として、記念式典および記念講演、記念祝賀会を開きました。記念式典では、長年にわたって町のスポーツや体育の振興・発展に貢献した人、また過去10年間に日本一となった方々を功労者・優秀選手として表彰しました。来賓・関係者など約120人が出席する中、元陸上競技400メートルハードルの五輪選手で、世界陸上2大会連続銅メダルを獲得した為末さんから「ハードルを越える」をテーマに記念講演をしていただきました。

【功労表彰者・優秀選手表彰者の皆さん】(敬称略)

【功労表彰者】高橋康祐、欠端學、細川正士、山上忠一(剣道協会) / 佐々木恵一(空手道協会) / 小川京子、鷹木愉美子(ソフトボール協会) / 深澤剛(野球協会)

阿部寛(卓球協会) / 及川和男(バドミントン協会)

【優秀選手表彰者】佐山建人、五十嵐結衣、千葉晴香(カヌー競技) / 藤根俊貴(自転車競技) / 岩館康太(銃剣道競技)

報告

地区対抗競技大会 終了

全8競技種目による地区対抗競技大会が、2月に開催したバレーボール競技ですべて終了しました。各競技で白熱した試合が展開され、地域の連帯感や世代間交流が図られました。総合結果は次のとおりで、3月16日には総合表彰式を行います。

優勝 古館地区体育会
準優勝 赤石地区体育会
第3位 日詰地区体育会
競技種目 ゴルフ、テニス、野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ゲートボール、卓球、バレーボール



最終種目のバレーボール競技の様子

申込・問合せ (一財)紫波町体育協会 ☎676-2650



頭と体を使って、 認知症予防を始めよう！ ～コグニサイズのおすすめ～

認知症予防には健康的な生活が重要

「認知症」は、単なる物忘れとは違い、脳の細胞がうまく働かなくなる病気です。認知症ではないけれど軽度の認知機能の低下が見られる状態を「軽度認知障害」といい、この時期に対策することで認知症の発症を抑えたり、遅らせたりすることができるといわれています。

認知症の発症には、遺伝的要素も要因として挙げられますが、生活習慣などの環境的要素が大きく関わっていると考えられています。

そのため、中高年世代の認知症予防には、食事や運動習慣に気を付けるなどの健康的な生活が大切です。特に運動は、脳の神経を成長させることに効果があるといわれており、脳を使いながら運動することで神経細胞の活性化につながると考えられています。

コグニサイズ
＝脳を刺激する運動

「コグニサイズ」とはコグニクシオン(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせた造語で、国立長寿医療研究センターで開発された、脳への刺激が期待される運動方法です。

ウォーキングや水中運動などの有酸素運動は、体への負担が少なく無理せずに続けることができるため、コグニサイズに適しています。中でもこれから運動を始める人には、手軽にでき、膝や腰に負担のかかりにくいウォーキングがおすすめです。

ウォーキングするときには、しりとりにや計算(例…100から3や8ずつ引いていくなど)、川柳を考えながら歩くと、脳に刺激を与えることができます。考えることに集中しすぎで体が止まってしまうように注意しながら取り組みましょう。

■ウォーキングの基本姿勢をおさえよう



実践のポイント

- 事前にかかりつけ医に相談
いきなり始めず、必ず医師に相談します。
- 体をほぐしてから始める
けがを防ぐためにもストレッチなどで体を温めてから始めましょう。
- 無理をしない
少しずつ体を慣らしていきましょう。体調が良くないときには休みます。
- 水分補給を忘れずに
運動の途中で、小まめに水分補給をしましょう。
- 痛みが生じたときは休息
我慢や無理はせず、痛いときは休息をとります。
- 安全に歩くことを最優先に
夢中になり過ぎるのは危険。他の歩行者や障害物にも注意し、安全第一で実践しましょう。

※これだけで認知症予防ができるわけではなく、日頃から健康的な生活を心がけることが大切です。



いつもより少し心拍数が上がって「ちよっときついな」と感じるくらいに、歩く速さや継続する時間を調節しましょう。

福祉と健康
すこやか
情報

自立支援医療 (精神通院医療) をどこまで受けられますか？



精神疾患によって、継続して通院治療を受ける場合、医療費の負担が多くなる場合があります。自立支援医療(精神通院医療)の制度は、そのような方々の医療費の軽減を図るものです。

○対象者は？

精神疾患によって、通院による治療を続ける必要がある人が対象です。全ての精神疾患が対象となり、次のようなものが含まれます。

- ・統合失調症
- ・うつ病・躁うつ病などの気分障害
- ・不安障害
- ・薬物などの精神作用物質による急性中毒またはその依存症
- ・知的障害
- ・発達障害
- ・てんかん など

○医療費の軽減が受けられる 医療の範囲

精神疾患、またはそれが原因となって生じた症状に対して、病院や診療所に入院し

ないで行われる医療(外来、投薬、デイケア、訪問看護)が対象です。

※次のような医療は対象外

- ・入院医療の費用
- ・公的医療保険が対象とならない治療、投薬などの費用(例…病院や診療所以外でのカウンセリング)
- ・精神疾患と関連性のない疾患の医療費

○医療費は自己負担1割に

公的医療保険で3割の医療費を負担しているところを、1割に軽減します。

(例…かかった医療費が7000円、医療保険による自己負担が2100円の場合、本制度によって自己負担は700円となります)

○申請手続き

- ・申請は福祉課窓口で受け付けています。
- ・申請が認められると、「受給者証(自立支援医療受給者証)」が交付されます。
- ・申請に必要な書類や持ち物がそれぞれ異なりますので、あらかじめ福祉課に問い合わせください。

からだよろこぶ
ヘルシーレシピ

切干大根とベーコンの和え物

長寿健康課 佐々木絵里子栄養士のレシピです

材料(4人分)

切干大根(乾)…………… 30g 酢…………… 大さじ1
ベーコン……………1枚 しょうゆ…………… 大さじ1



- 1 切干大根は水で戻してからざく切りにし、さっとゆでる。
- 2 ベーコンは短冊切りにして、フライパンでカリカリに炒め、脂を取り除く。
- 3 1と2を合わせ、酢としょうゆであえる。

ポイント●切干大根は食物繊維が豊富な食材です。煮物以外でもぜひお試しください。

催し

平成27年度
紫波町発掘調査報告会

町教育委員会が平成27年度に実施した埋蔵文化財発掘調査成果の報告会を開きます。

申込不要

■日時 3月16日(水)
午後7時～8時30分

■会場 中央公民館 2階 研修室

■内容 南口詰大銀Ⅱ遺跡(南口詰字小路口地内)発掘調査の報告、遺物展示・説明

■問合せ 生涯学習課
☎(672) 2111 内線3120

古文書講座講演会

日詰公民館が主催する古文書講座で、講演会が開かれます。講座受講者以外の人も聴講ができますので、お気軽にお出かけください。

■日時 3月19日(土)
午前10時～11時45分

■会場 中央公民館 2階 研修室

■内容 八木光則さん(岩手大学平泉文化研究センター客員教授)「岩手の石碑文化―斯波の中世板碑と内陸・三陸の近世石碑―」

■申込・問合せ 当日まで随時受付。
電話で申し込みください。
日詰公民館 ☎(671) 1642

夜のとしよかん「生誕130年
啄木と紫波の人々」

閉館後の図書館で行われる参加型トークイベントです。今回はゲストスピーカーのお二人が、石川啄木と紫波町ゆかりの野村胡堂や俳人の露子・炎天、日詰地区にあった劇場「白梅館」創設者の平井直衛などとの関わりについて紹介します。

参加無料 申込不要

■日時 3月23日(水) 午後7時30分～8時45分(7時25分開場)

■会場 紫波町図書館 一般フロア

■ゲストスピーカー

森義真さん(石川啄木記念館長)、
山田武秋さん(桜出版代表)

■定員 先着50人程度

■問合せ 紫波町図書館
☎(671) 3746

募集

「第五次紫波町母子保健計画」案
へのご意見を募集中です 市民参加

安心して子どもを産み、子どもがより健やかに育つためには、妊娠・出産・子育てへのライフサイクルを通じた切れ目のない支援が必要です。

町は、地域の母子の健康や子育て環境の向上を図るために「第五次紫波町母子保健計画(案)」を作成します。こ

の計画について、皆さんのご意見を募集しています。

■募集期間 3月23日(水)まで

■閲覧場所 長寿健康課企画課、地区公民館、紫波町図書館、ゆいっとサロンのホームページ、子育て応援センター「しわっせ」、虹の保育園子育て支援センター

■意見提出方法 様式は自由です。ご意見、住所、名前を明記の上、持参または郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかで提出してください。

■提出・問合せ 長寿健康課 健康推進室
☎(672) 2111

内線1344、1346
FAX (672) 4349

✉shiva.info@gmail.com

食育パートナーとして
活動しませんか

食育パートナーとして
活動しませんか

食育とは、食に関するさまざまな知識習得と経験を通じて、健全な食生活を送ることができ実践力や食を選択する力を身に付け、生きる力を育むことです。町は、農畜産物の生産や食文化などに関する技術や知識を生かし、学校や地域での食育活動に協力していただける「食育パートナー」を募集します。

応募要件

- ・町内に在住している人
- ・食育活動に関わる人に対し、個人情報公表することに同意する人

こずかた診療所

内科・リハビリテーション科

■診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30

■受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00

■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもと看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。

■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。

※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-67-1医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)

☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)



おかげさまで 創業50周年

聴こえる嬉しさ、伝わるよろこび。

補聴器無料相談会



4/6(水)10:00～15:00

【場所】オガールプラザ中央棟2階(図書館うえ)



音がたえる いのちの輝き
岩手リオン
補聴器センター

フリーダイヤル 0120-3341-05

【盛岡本店】盛岡市盛岡駅前通8-14

【営業時間】①～④9:00～17:00

⑤⑥10:00～16:00(本店のみ)

盛岡本店・花巻店・北上店・水沢店・一関店・宮古店・大船渡店

詳しくはホームページへ! 岩手リオン

■主な活動内容

学校や地域での農業体験・調理体験の指導や食育事業への協力など

■登録期間

登録日から平成29年3月31日まで

■申込・問合せ

農林課 食育担当

☎(672) 2111 内線2241

「紫波町芸術祭」に出演してみませんか

町は、芸術祭への新規出演団体を募集しています。今年で50周年を迎える記念の芸術祭で、皆さんの日頃の練習の成果を発表してみませんか。

〈舞台部門〉

・日時 9月11日(日)

午前9時30分～午後3時30分

・会場 中央公民館 集会室

・対象 町内で活動している団体(さん

さ、一輪車、神楽、太鼓なども大歓迎)

・申込 4月28日(木)まで

〈合唱合奏部門〉

・日時 10月15日(土)

午後1時～3時30分

・会場 中央公民館 集会室

・対象 町内の中学校・高校、町内で活動している合唱・合奏団体(コーラス

ハーモニカ・オカリナ・弦楽器など)

・申込 5月31日(火)まで

■申込・問合せ

中央公民館 ☎(672) 3372

お知らせ

新しい国民健康保険被保険者証を3月下旬に郵送します

現在お使いの国民健康保険被保険者証(以下保険証)の有効期限は、今年の3月31日(木)までです。新しい保険証は、世帯主あてに3月下旬に郵送します。

3月31日(木)を過ぎても保険証が届かない場合は、町民課まで問い合わせください。(保険証は、住民登録されている住所に送付します。住所変更の届出をされていない場合などは、保険証が届かない場合がありますので、ご注意

市民参加推進会議委員を募集します

◆市民参加条例とは

「紫波町市民参加条例」は、「市民参加」に関する基本的な事項を定め、町の皆さんが町政に参加する機会を保障し、皆さんが主役の市民参加によるまちづくりを一層推進することを目的として制定されました。

市民参加の手法は主に「市民会議」「意見公募」「意見交換会」「審議会等」があります。このような参加の機会の情報は、『紫波ネット』や町のホームページで随時お知らせしていきます。

◆市民参加推進会議とは

「紫波町市民参加推進会議」は、市民参加の制度が機能的に運用されているかを評価し、市民参加を定着させるための方策などを検討する組織です。

町は、平成28年4月から平成30年3月までの期間、この会議の委員を務めてくださる人を募集しています。

◆公募人数 15人以内(任期2年)

◆対象 町内に在住、在勤、在学している人

◆謝金 交通費程度

◆申込・問合せ 3月24日(木)までに、住所、氏名、電話番号、他の審議会などの兼任の有無、志望動機を記入し、持参または郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかで提出してください。

企画課 協働支援室 ☎672-2111(内線2310)

✉ shiwa.info@gmail.com

ください)

■問合せ 町民課 保険年金室

☎(672) 2111 内線1263

「振り込め詐欺」出前講座のご案内

東北財務局盛岡財務事務所は、金融犯罪の未然防止のための出前講座を行っています。振り込め詐欺などの手口や対策について、地域や各種団体の会合に向いて説明します。費用はかかりませんので、お気軽に問い合わせください。

■問合せ

東北財務局盛岡財務事務所 理財課

☎(622) 1637

紫波町のみなさまへ 結婚相談のプロが無料相談受けます

アシスト・ユー・イワテは仲人業22年!

私共は、いつも相談される方の“願い”を心に置いて、良いチャンスにめぐりあえるよう誠実にお手伝いしております。初婚・再婚・中高年の方々応援致します。他府県におられるお子様のご縁もお世話しております。

ご両親さまの相談受付中(秘密厳守)

(インターネットでのご紹介ではありません!)

アシスト・ユー・イワテ

(株)全国ブライダル連盟加盟(全国ネット)



TEL FAX 019-652-0811

お気軽にお電話ください。盛岡市大通3-7-6 山根ビル5F

3月のイベント シニア合コン

日時 ◆3月26日(土) 17:30~20:00

場所 ◆遠野物語 盛岡市 大通り3丁目

参加資格 ◆男女ともに 65歳以下

参加人数 ◆男女各5名

完全予約! 申し込みは左記へ

2015年産 自園自醸ワイン紫波

紫あ波せ ワイン

3/17(水)より販売開始!

お買い求めは県内酒販店・スーパー・百貨店にて 岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン

(株)紫波フルーツパーク

紫波町遠山字松原1-11 (道の駅紫波の裏手) ☎019-676-5301

URL http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/

甘口 900ml 辛口 900ml

紫波町産ぶどう100%

ワイン専用品種 ぶどう使用

紫波ワイン 🔍 検索

ママと一緒にひなまんじゅう作りに挑戦♪



花の形に彫られた木型に生地を押し当てる親子

古館公民館で2月24日、子育て支援グループひよこひろば(佐藤隆子代表)が、ひなまんじゅうときりせんしよ作り講座を開きました。町の食育推進事業の一環として行われたもので、地場食材を使った郷土食を若いお母さんたちに広めることも、子どもたちの年齢に合わせたお手伝い方法も覚えてもらおうと企画。講師は、県が認定する「食の匠」細川玲子さん(長岡)が務めました。参加した11組の親子は、米粉をお湯で練った生地で餡を包み、スプーンや木型を使うなどして成形にチャレンジ。二人のお子さんと一緒に参加した西村倫子さん(古館)は「想像していたよりも簡単にでき、子どもも一緒に楽しんで作れたので良かったです」と話し、長女の茉桜ちゃん(3歳)も「おもちをのびすのが気持ちよくて楽しかった。おいしかったし、おなかもいっぱい」と満面の笑顔でした。

視野を広げる国際交流
中学生10人が豪州へ

町は2月19日から27日まで、国際交流海外派遣団(箱崎大樹団長・紫波一中)として、町内中学生2年生10人と引率者2人をオーストラリア連邦に派遣しました。19日に役場庁舎で行われた出発式では、熊谷町長や保護者の方々に前に、工藤夢那さん(紫波一中)が「今よりも英会話を身につけるとともに、紫波町との違いや共通点などをたくさん学び、現地の方々や紫波や日本のことを色々と伝えたいです」と団員を代表して意気込みを語りました。

現地に到着した団員の生徒たちは、町の姉妹都市であるクイーンズランド州サザンダウンズ市でホームステイしながら地元の高校に通い、事前学習で練り上げた「日本の部活動」をテーマにしたプレゼンテーションを披露するなどして、文化交流を深めました。



出発式で熊谷町長(左)に堂々と出発あいさつをする
工藤夢那さん(右)

重文「平井家住宅」を学ぶ
まちかどカフェ開催



あらためて語られる地元の名所の魅力に、
じっくり聞き入る参加者の皆さん

日話商店街内にある鈴の音サロンで2月21日、第1回まちかどカフェが開かれました。町内各地区にある歴史や文化について学び、今後の活用を考えることを目的に、(一社)紫波町観光交流協会が企画したものです。今回は、同月9日に国指定重要文化財に指定されたばかりの平井家住宅について、町生涯学習課の岩館岳主事が講演。重要文化財の意義や平井家住宅の特徴、平井家の歴史などについて解説し「平井家住宅には、時代背景を表す建造物としての価値に加え、紫波の地域性や歴史を物語る無形の価値もあります。また、街中にある重要文化財ということを生かしながら、管理や活用を考えていくことも大切です」と述べ、地元の日話地区から参加した鈴木千佳子さんと佐々木由美さんは「当時は家相を見る人がいて、験(げん)を担ぐために未完成な部分を残したということを知り、とても興味深かったです」とこれからの保存や活用について、地元としてお手伝いしていきたいですし、もっと多くの人に知っていただきたいと思います」と理解を深めた様子でした。まちかどカフェは今後、町内各地区で開催される予定です。



熊谷町長のもとを報告に訪れた佐藤喜一会長(中央)と阿部精次事務局長(左)(2月3日)

環境マイスター紫波が 県知事表彰を受賞

アイーナ(盛岡市)で1月30日に開かれた「いわて水と緑の交流フォーラム」で、平成27年度岩手県環境保全活動知事表彰が行われ、環境マイスター紫波(佐藤喜一会長)が環境保全の部で県知事表彰を受賞しました。同団体は、町が主催する環境マイスター養成講座の修了生有志が中心となって平成18年6月に結成し、現在の会員は79人。主に町内河川などで水生生物調査や水質調査の実施などを行っており、赤沢川や城山公園で開いている自然観察会は子どもたちに人気の催しです。

佐藤会長は「受賞は10年間の活動が評価されたものだと感じています。環境保全は、水環境と里山環境の両輪で成り立つもの。今後も自然観察会などをとおして、子どもたちと一緒に生物や植物が生きられる環境について考えていきたいです」と、町の環境を次世代につなげていく活動の継続を誓っていました。

キルギス共和国が オガールを視察



一行は、熊谷町長を表敬訪問し、役場庁舎も見学しました

オガール地区に2月11、12の両日、キルギス共和国の政府機関と首都ビシケク市からの視察団が訪れ、公民連携事業について研修しました。一行は、JICA(独国際協力機構)が主催する「2015年度PPP案件ストラクチャリング能力向上」の研修の一環で「紫波町のような小規模の自治体での実践はキルギス国内でも参考になる」と期待して来町。町の職員からは民間との連携について、オガールプラザ(株)代表取締役の岡崎正信さんからはオガールプロジェクトの事業手法などについて講義を受けました。同国財務省予算部長のアマンゲルディーエフさんは「国内での公民連携事業は始まったばかり。実際の事例を聞くことができ大変有益でした」と研修に手応えを感じていました。

生演奏の豊かな音楽に 触れたアコフェス

情報交流館で2月20日、毎年恒例となっているオガール・アコースティック・フェスティバルが開かれました。町の皆さんに気軽に音楽に親しんでもらおうと同館が主催しているもので4回目。町出身者や県にゆかりのアーティスト14組が出演し、個性あふれる音色を会場いっぱい響かせました。ステージのトリを務めた津軽三味線奏者の藤原翼さんは「地元ということで少し緊張もしましたが、多くの人に足を運んでいただきとてもうれしかったです」とにこやかに語り、県外から訪れたというご夫妻は「たまたま立ち寄ったのですが、こんなに近い距離で音楽に触れる場所や機会があるのはとても良いことです。ぜひ大事に続けていってくださーい」と関心した様子でした。



約6時間30分にわたって、リレー形式でつながれたステージ



100歳
おめでとう

藤原さよさん(北日詔)

2/5

穏やかな表情で優しく町長に座布団を勧めた藤原さよさん。縫い物が得意で、目もよく見え新聞も読めます。何でも食べますが、中でもお肉と餅が大好きで、デイサービスで友達とお話を楽しみながら、この数年は病気で、たくさんのお孫さんにお年玉を配ることも楽しみにしています。

現在、町内の100歳以上のご長寿は藤原さよさんを含めて13人です。

オガール通信

■問合せ 企画課 公民連携室
☎672-2111 (内線2291)

日詰地区で始まる新たなまちづくり～「日詰リノベーションまちづくり構想(案)」ができました～

町は現在、歴史ある日詰地区で「リノベーションまちづくり」を進めています。リノベーションまちづくりとは、今ある空き家や空き店舗などを生かしながら、新しい使い方をし、まちを変えていくまちづくりの手法です。

日詰リノベーションまちづくり検討委員会は、町のほか、日詰の不動産所有者などで構成され、昨年5月から『日詰リノベーションまちづくり構想(案)』の策定に取り組んできました。構想(案)には「紫波の資源を生かして、こんなまちにしたい」という思いがまとめられており、日詰まちなか再生ビジョンとして「健康で幸せに暮らし続けられるまち」を目指すことが盛り込まれています。この構想(案)は、新しい事業の可能性や地域の意向を取り込みながら、今後も継続的に見直し磨き上げていきます。

また、構想(案)で目指すまちの姿をより分かりやすくするために、「ヨリーとモモ 日詰のものがたり」という絵本にしました。この絵本は、図書館にも配架していますので、ぜひ手にとってご覧ください。

リノベーションまちづくりに興味のある人は、企画課まで問い合わせください。



中央葬祭センター シンセラホール紫波

3月17日～3月23日まで
午前8時～午後5時 ※写真はイメージです

念珠・花びんを 特別価格で販売

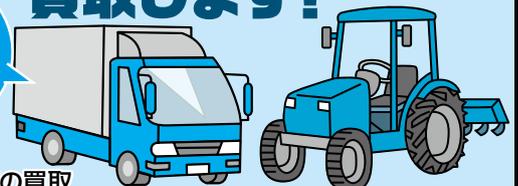
※一部商品を除く

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」
岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎676-7676 FAX676-4404



ご不要になった各種車両を 買取します!

トラック
建設機械
農業機械



現金買取
遺産相続車両の買取
車検切れの車・置きっぱなしの車・事故車・故障車もOK

(株)マイタコーポレーション (古物商:第211030000835号)
紫波郡矢巾町煙山17-78-1 ☎019(697)3939 FAX019(697)7028

このたびラ・フランス温泉館では、マイナンバー制度の導入に伴い平成28年3月31日をもちまして『紫波町の住基カードの提示で受けられる入湯料割引サービス』を終了させていただきます。ご案内申し上げます。

ラ・フランス温泉館営業のご案内

営業時間

平日 10:00～21:00
土・日・祝 9:00～22:00

休館日

2月17日(第3水曜日)

レストラン

営業時間 11:30～20:30
(ラストオーダー)

お問い合わせ ☎019-673-8555
FAX 019-673-8556

ハダカのおつきあい一家だんらん。
La France
ラ・フランス温泉館

ラ・フランス温泉館 検索 URL <http://www.lafrance.co.jp/>

日詰店新システム導入につき リニューアル オープン



お宮参り、百日祝、
お誕生日、七五三etc
撮影衣装多数入荷
撮影後写真選びも簡単
安心の価格システム
ご予約はぜひ
中谷地写真館へ



中谷地写真館

●本店/紫波郡矢巾町又兵衛新田7-202-1
☎019-697-2537
●日詰フォトセンター/紫波郡紫波町日詰
☎019-676-5556

町長からのメッセージ

5年前の3月11日、午後2時46分。私は県議会の特別委員会室にいた。当日は予算特別委員会の最終日で、通告をしていた県土木整備部への質問も午後一番に終わり、少々気持ちが緩んでいたときである。部屋に突然耳慣れない音が響いた直後、あの激震が来た。誰かの携帯の地震アラームの音だった。本当に長く感じられた。議会棟の天井から、コンクリートの破片がパラパラと落ちてきた。部長以下職員も議員も言葉も無いまま天井を見つめて長い時を耐えていたが、揺れが止んだと同時に委員長が暫時休憩を発すると、一斉に職員は委員会室を飛び出していた。

私の隣に座っていた沿岸部の議員がうめくように「大津波だ」と言葉を出したのを覚えていた。委員会は後日再開ということで散会となったが、内陸育ちの私は、一瞬家屋倒壊は脳裏をかすめたものの、津波はすぐには連想できなかった。

この東日本大震災を経験してから、物の見方が変わってきた。東京湾をモノレールの上から見ていると「20mぐらいの津波が来るとビルのあの辺まで浸水するかな」と考えたり、地下街を歩いているときに大地震を想像してかなりの不安に駆られたりする。

人間は利便性を求めながら巨大な都市空間を造り上げてきたが、反面、想像を絶するような大災害の元もつくってしまっている。これからは、その中で生きていく覚悟も必要だ。

熊谷 泉

英会話 盛岡南校10周年記念キャンペーン実施中!

詳しい内容、
お得なクーポン
はこちらから→



2016年5月31日(火)まで

- 特典1 英会話レッスン1か月分+3月末までにご入会いただくと、さらに**3レッスン無料!**
- 特典2 **入会金無料** (16200円)
- 特典3 **教材費1か月分無料!**

お電話にてご予約下さい
無料体験レッスン実施中
019-697-2220

プリンス 盛岡南校
英米学院 (矢巾交番 斜め向かい)

紫波郡矢巾町又兵衛新田7-209-1F

プリンスのここが安心 ●優秀なネイティブ講師による英会話 ●日本人講師による英文法レッスン ●無駄の無い月謝制 ●振替レッスンOK ●英検・英検Jr. 認定校

メガネは認定眼鏡士の店で

お作りください!

- 当店には認定眼鏡士が在籍しております。
 - 認定眼鏡士はメガネ関連唯一の認定資格です。
- 各眼科処方箋承ります



銭形平次のあるさと紫波町のメガネ店
眼鏡屋 目明かし堂
有限会社 佐藤時計店 紫波町日詰字郡山駅209(日詰商店街・バス停前)
目明かし堂 検索
www.meakashi.com
676-2838

相心館 ゆう美容室

さくら咲け
華開け
貴方の季節到来
大切な日を
素敵な時間にする為に
私達にお任せください

メール会員になると、もっとお得な情報がゲットできます。携帯・スマホからアクセス!「QR画面」表示してください。

[定休日] 3月14日・20日・21日・28日
4月4日・11日・17日・18日・25日
〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31
TEL 019-676-5825
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/
E-mail yu@posh.jp OPEN 8:45 CLOSE 18:30



空き家 対策

お気軽に
ご相談
ください

頼れる相談相手がいない
どうしたら良いのかわからない

岩手県知事免許(1)第2440号・(公社)全日本不動産協会会員
不動産のことなら
(株)プラス不動産サービス
紫波中央不動産から(株)プラス不動産サービスに社名が変わりました
〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ソフトバンク紫波さん 隣り)

019-671-2161 プラス不動産サービス 検索

医療保険適用 在宅マッサージ

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。

無料 お試し体験 実施中!!



- 歩行が困難な方
- 身体にマヒがある方・不自由がある方
- 車椅子使用の方など...

お気軽にお電話ください。

紫波エリア担当 090-3753-0594

あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)

利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.フリーダイヤル

0120-213-222

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!





普段の何気ない風景の中で、町の歴史を物語っている近代史跡を訪ねるコーナーです。皆さんの身近な地域にも、今まで知らなかった町のストーリーがひっそりと眠っているかも!?

町制施行60周年記念
シリーズ行ってみよう

まちかど タイムスリップ

長之助の長寿と功績をたたえて志和稲荷神社の社頭に建てられた「寿碑」。長之助が亡くなって2カ月後の大正14年(1925)4月に除幕された。もともとは参道にあったが、参詣者の目にとまるようにと現在は駐車場に面した位置に移設されている。(写真中央は須川長之助顕彰会の泉館重雄会長、右は坂本好司副会長)



葉の形に特徴があり可愛らしい花を咲かせる高山植物「チョウノスケソウ」



城山公園に昭和63年(1988)に建てられた顕彰碑の周辺には、ゆかりの植物6種が植えられている



水分公民館内に展示されているゆかりの品々



植物採集家・須川長之助翁「寿碑」

皆さんは「チョウノスケソウ」という花をご存じですか。高山植物の一種で、国内でも南アルプスや八ヶ岳、北海道など生息地が限られているバラ科の低木植物です。この名前の由来となっているのが、町の名誉町民、須川長之助です。

長之助は天保13年(1842)、水分の下松本(当時の下松本村)に農家の長男として生まれました。10歳を過ぎたころから奉公に出るようになった長之助は、19歳のときに函館に渡り、職を転々とした後、15歳年上のロシア人植物学者マキシモビッチの家の風呂番兼掃除夫となります。正直者で努力家の性格から徐々に信頼を得ていった長之助は、マキシモビッチから植物採集の手ほどきを受けて、助手として長崎や横浜などの採集旅行にも同行。約3年間を共に過ごした後、マキシモビッチは帰国しますが、それ以降も師弟関係は続き、長之助は依頼があるたびに国内各地の採集に出かけました。時には命がけの調査となることも多く、その労苦をたたえたマキシモビッチをはじめとする外国人研究

者により、12種類もの新種植物の学名には「チョウノスキー」として名が献じられています。

マキシモビッチの死後、長之助は農業の傍ら、地元の講師として学校の先生や児童たちと何度も東根山に登ったそうです。そして、長之助の偉業をたたえるため、有志の方々によって志和稲荷神社の社頭には「寿碑」が建てられました。長之助が名誉町民となった昭和53年(1978年)に顕彰会を立ち上げた泉館重雄会長(水分88歳)は「長之助さんの人柄や偉大な業績を忘れることなく、後世に伝えていきたいと思っています。東根山にはチョウノスキーの学名が付くホソバハナヒリノキの木が自生していますし、暖かくなると城山公園の顕彰碑の周りに植えた植物たちも、生き生きとした姿を見せてくれますよ」と語ります。

近づきつつある春、皆さんも先人ゆかりの植物を見つけない、地元の山に出かけてみませんか。

【参考資料】『広報紫波』昭和61年8月号、昭和62年8月号
掲載の「名誉町民 須川長之助翁物語」など